

病床配分の仕組等に関する主な意見

- 申請のあった病床数について、最大限の配付を求める意見（区東北部）
 - ・急速な高齢化に伴う医療需要の増加への対応が必要
 - ・感染症や災害発生時に医療機能を発揮する病床の整備が急務
- 地域医療構想の趣旨に鑑みると、病床配分の申請は、医療機能（回復期・慢性期病床）を限定すべきとする意見（区東部）
- 大量の病床配分による地域への影響を懸念する意見（区南部）
 - ・職員採用における、周辺の医療機関への配慮

個別の医療機関等に関する主な意見

- ☆ 内容が多岐に渡るため詳細は別紙を参照。主な意見の種別は以下のとおり
 - 申請者が提供する医療の内容や説明内容に関する意見
 - 平時（※）における病床の運用方法・医療機能に関する意見
 - ・関東中央病院（区西南部）、タムス瑞江病院（区東部）、武蔵野徳洲会病院（北多摩北部）
- （※）特に重要な医療機能（感染症医療・災害医療）を整備する病床として、優先的な配分を希望する病床区分の申請に関して
- 地域医療への積極的な協力を求める意見
 - ・米倉脊椎・関節センター病院（仮称）、練馬志匠会病院（区西北部）
 - グループ内の病院のみならず、周辺病院との連携強化を求める意見
 - ・東京品川病院（区南部）
 - 地域医療及び防災面での機能強化を歓迎する意見
 - ・東京品川病院（区南部）・武蔵野徳洲会病院、滝山病院（北多摩北部）
 - 申請者と地区医師会との調整に関する意見
 - ・東京さくら病院、タムス瑞江病院（区東部）